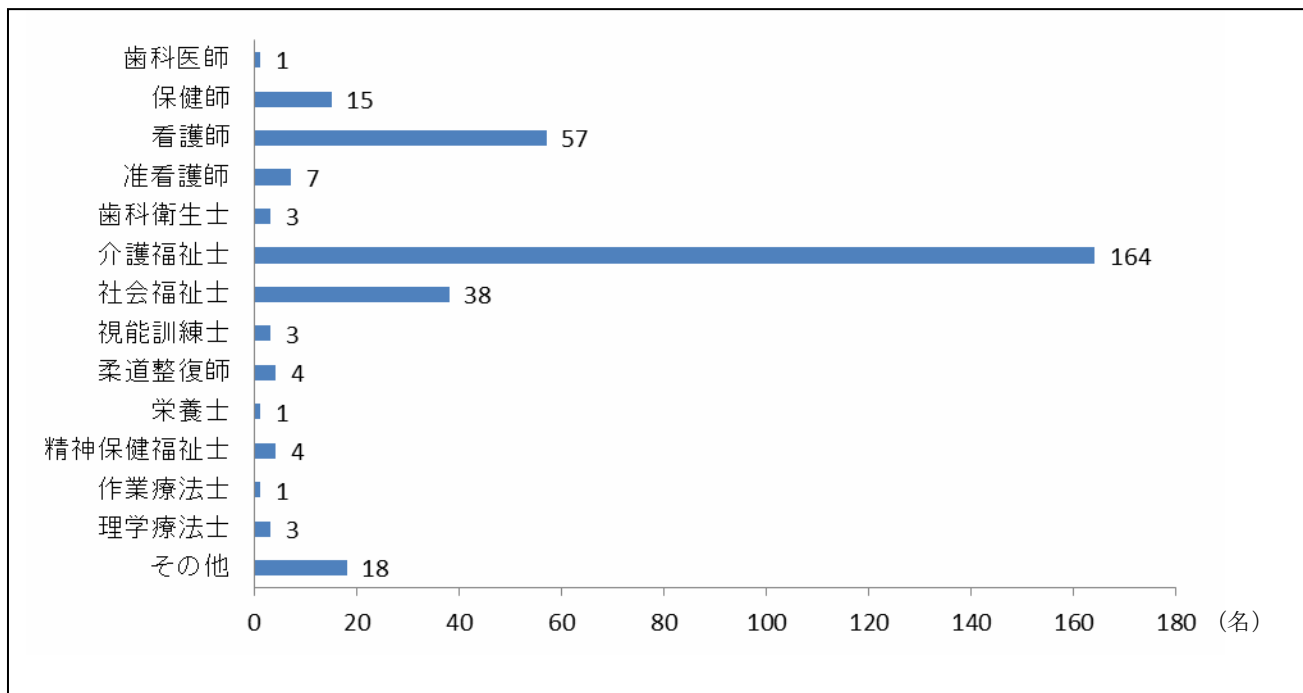


356 部郵送し、274 部の返信があった（回収率 77.0%）。

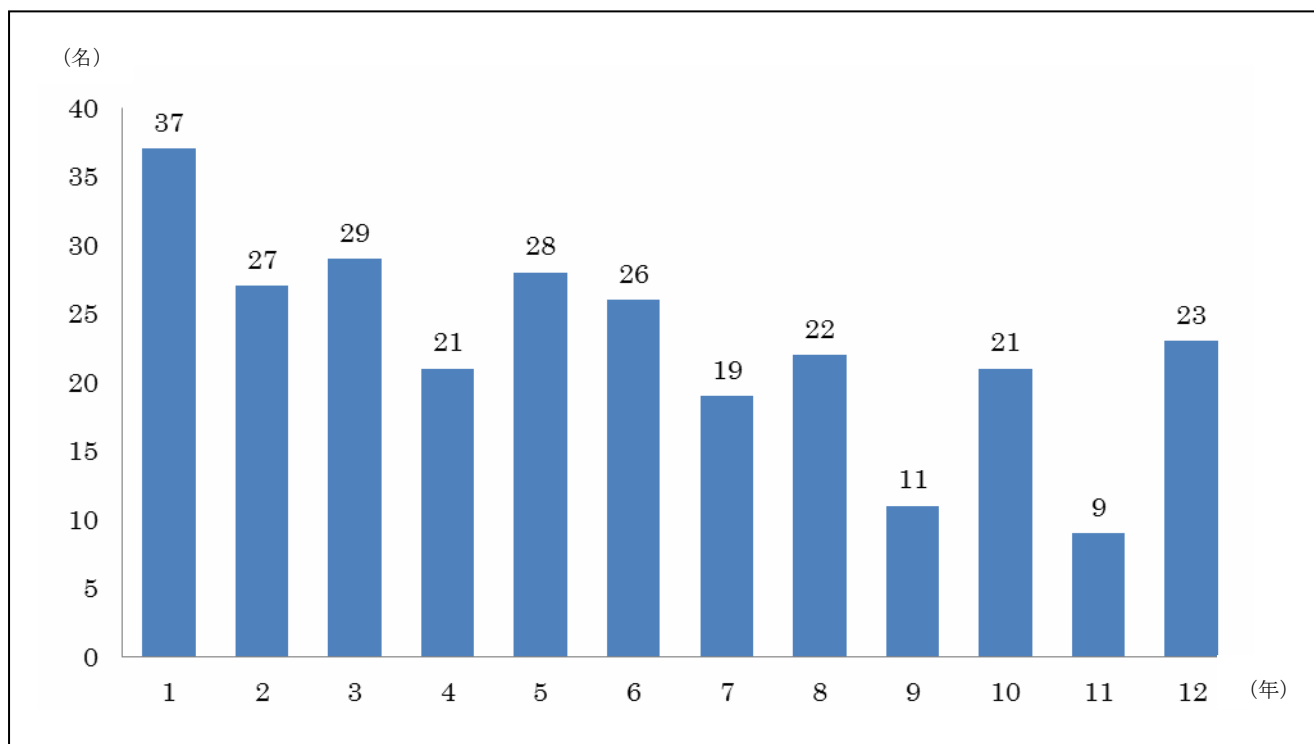
問1 現在所有している資格は何ですか？（複数回答可）

\*介護福祉士が一番多く 164 名（51.4%）、次いで看護師 57 名（17.9%）、社会福祉士 38 名（11.9%）の順であった。



問2 介護支援専門員としての実務経験は何年ですか？

\*平均 5.7±3.5 年。1 年目が多く、9 年目と 11 年目が少なかった。



問 3 現在、あなたが担当している利用者数は何件ですか？（平成 24 年 6 月実績）

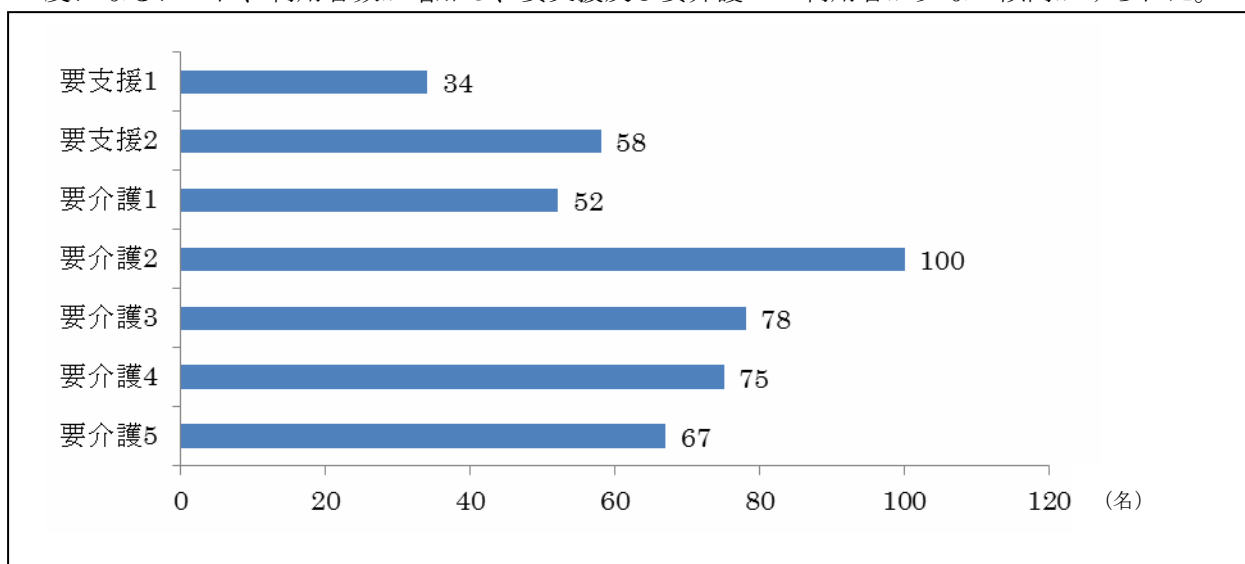
\*平均 26.8±12.7 件であった。

問 4 現在、訪問リハビリテーション（以下、訪問リハ）は利用されていますか？

\*利用している CM は 174 名（63.5%）であった。

問 5 あなたが担当している利用者の中で、実際に訪問リハを利用している人数を介護度別に記入して下さい（平成 24 年 6 月実績分）。

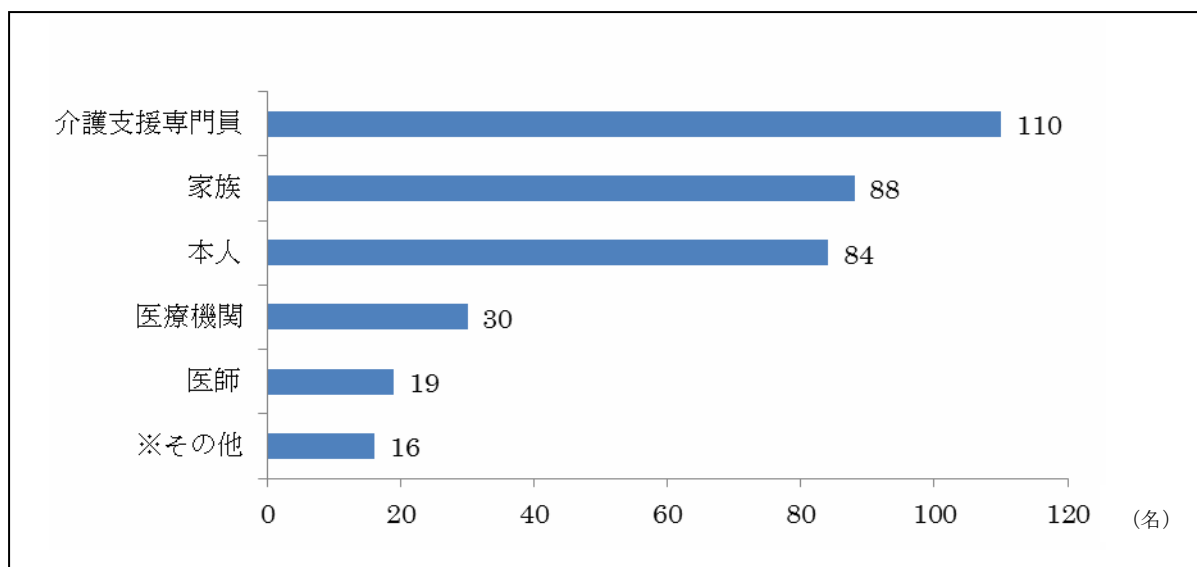
\*訪問リハを利用している人数は 464 名であり、要介護 2 が 100 名で一番多かった。介護度が重度になるにつれ、利用者数が増加し、要支援及び要介護 1 の利用者が少ない傾向がみられた。



問 6 あなたの担当している利用者のうち、現在訪問リハを利用はしていないが、導入が望ましいと考える利用者数は何件ですか？

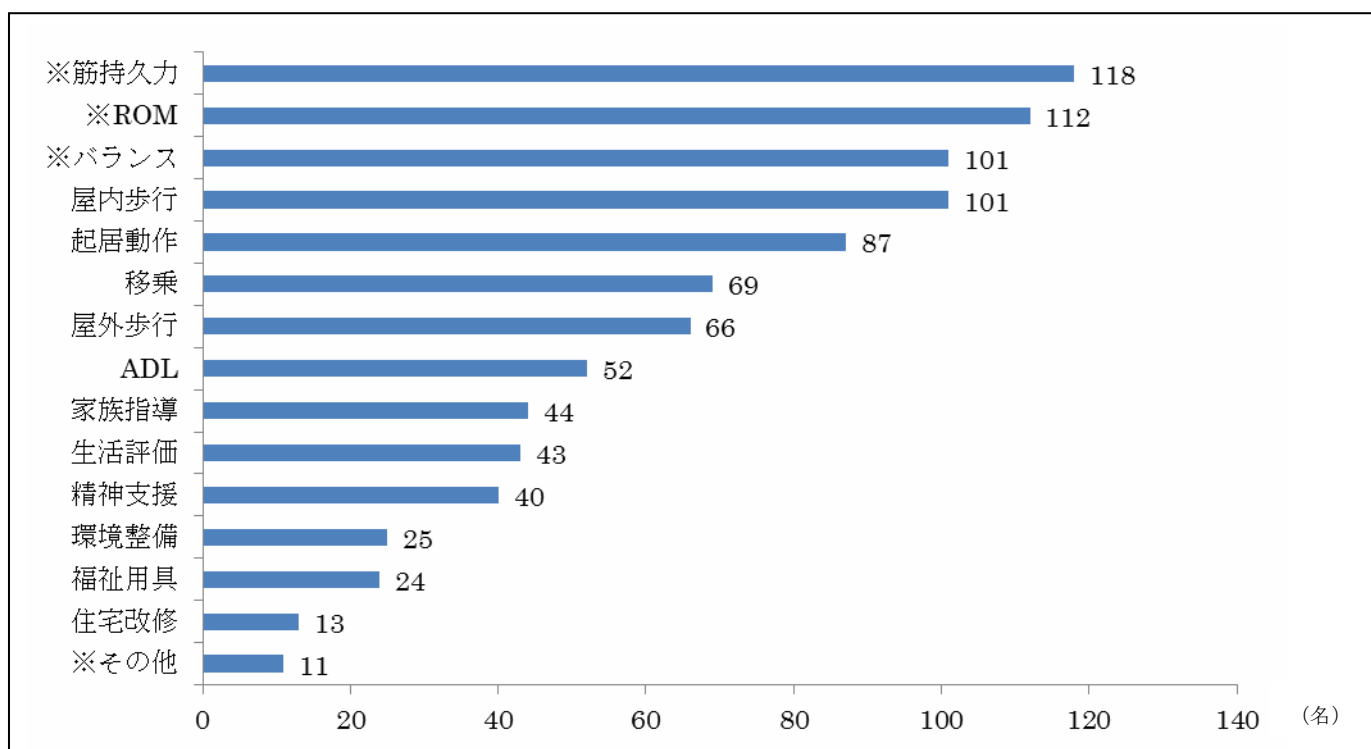
\*導入が望ましいと考える利用者の合計は 262 名で、平均は 1.7±1.6 名であった。

問 7 訪問リハを希望、提案されたのはどなたですか？（複数回答可）



※その他：引継ぎケースであった、訪問看護師、通所リハのスタッフ、地域包括支援センター

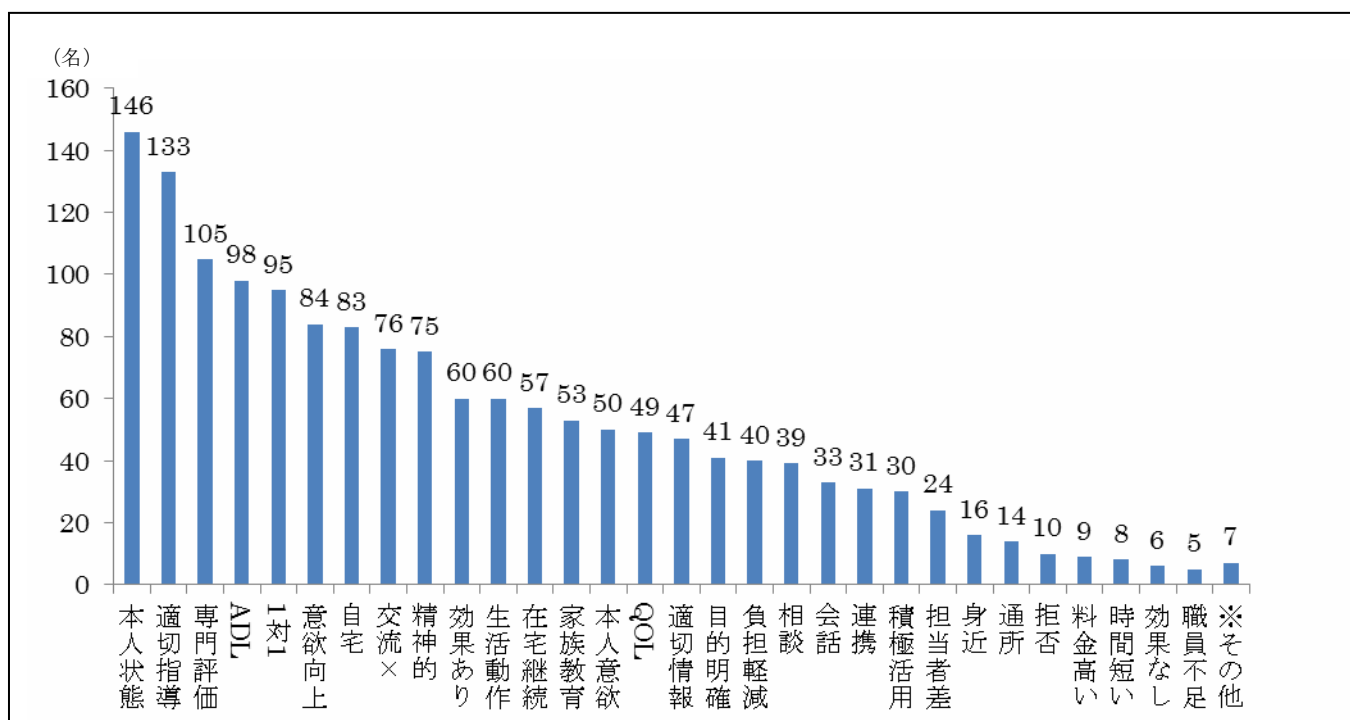
問 8 訪問リハを実施する主な目的は何ですか？（複数回答可）



※筋持久力：筋力・持久力訓練、ROM：関節可動域訓練、バランス：座位・立位バランス訓練

※その他：意欲向上（本人・家族）、リンパマッサージ、転倒した時の起き方、言語訓練、嚥下能力の維持、発声訓練の個別指導、居宅内での安全な移動確立のため、活動性を上げるため、呼吸器疾患、ポジショニングの評価、他事業所へのアドバイス

問9 訪問リハを利用してどの様な感想をお持ちですか？（あなた自身のご感想、複数回答可）



※その他：通所系では本人のリハ状況が見えないが、介護者にも見えるリハでいい。医師の理解が得られないことがある。利用曜日が祝日に重なると休みになるのはおかしいと思う。担当者の都合（体調不良等）で休みになるのはおかしい。利用回数を増やしたいとニーズがあっても難しいと言われる。同じ担当者にリハしてほしいと望んでいる。H24の改定で回数減・時間減となり困った利用者がいた。初回担当者会議の際、管理者だけでなく実際に訪問するリハスタッフに出席してもらい、本人と家族の関係を感じ取って本人の置かれている状況や家族の介護力を理解してもらいたかった。通所よりも密にじっくり自宅環境にあったリハが受けられる。抵抗力が落ちている方の感染の心配がない。

本人状態：本人の状態・住環境に合ったリハビリを行える

専門評価：専門的・適切な評価をしてもらえる

1対1：1対1で対応できるのが良い

自宅：自宅で受けられるのが良い

精神的：精神的な支え・不安軽減になる

生活動作：生活に必要な動作の訓練を行ってほしい

家族教育：家族への教育・指導が期待できる

QOL：QOL（生活の質）向上が期待できる

目的明確：目的・目標・課題が明確になる

相談：相談しやすい

連携：医療他サービスとの連携がとれる

担当者別：担当者で差がある

通所：通所リハビリ等のサービスにつながる

料金高い：料金・単価・単位が高い

適切指導：適切なアドバイス・指導をしてもらえる

ADL：ADLや筋力の維持・向上が期待できる

意欲向上：利用者の意欲向上が期待できる

交流×：他者との交流が苦手・外出拒否・通所困難な方に良い

効果あり：効果がある・改善がみられる

在宅継続：在宅生活が継続できる・安全に過ごせる

本人意欲：本人の意欲を引き出してほしい

適切情報：適切な情報・報告を得られる

負担軽減：家族や介護者の負担軽減になる

会話：コミュニケーションがとれる

積極活用：積極的に活用・取り入れたい

身近：身近なサービスである

拒否：利用者が拒否する・理解が得られない場合がある

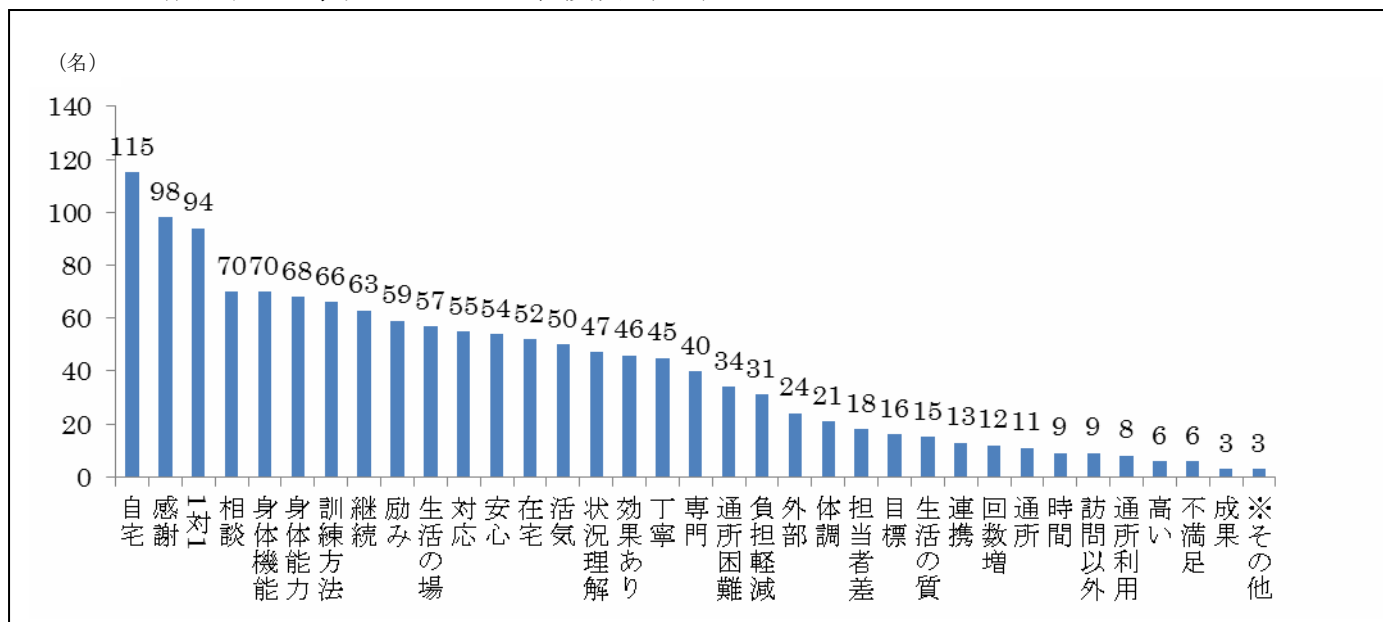
時間短い：時間が短い・物足りない

効果なし：効果がわからない・みられない

職員不足：スタッフが足りない

### 問 10 訪問リハを利用してどのような感想をお持ちですか？

(利用者・ご家族からのご感想、複数回答可)



※その他：本人や家族の状況を理解してもらいたい。通所リハ担当者と連携を図る事で、お互いに評価され、拘縮の改善につながった。時間を短縮してもいいので複数回入ってほしい。訪問回数が少ないが、その分担当の方からきちんと連絡や情報が頂けとても助かっている。適切な判断、評価がある。利用者様の都合を聞き、調整してくれる。

自宅：自宅で（専門的な）リハビリを受けられることが良い

1対1：個々に合わせてもらえる・1対1の対応が良い

身体機能：身体機能の維持が出来る

訓練方法：訓練方法や介護・介助方法を指導してもらえる

励み：訪問が楽しみ・励みになっている

対応：担当者の対応が良い・信頼感が持てる

在宅：在宅生活を継続できる

状況理解：本人や家族の状況を理解・把握してもらえる

丁寧：丁寧・具体的に指導してもらえる

通所困難：通所・通院・自主訓練が困難なので良い

外部：外部と接触ができる良い機会になっている

担当者差：担当者で差がある

生活の質：生活の質が向上した・生活範囲が拡大した

回数増：回数を増やせたら良い

時間：時間を長くしてほしい

通所利用：通所リハビリに行ってほしい

感謝：感謝・満足している・利用して良かった

相談：（専門的な）相談が出来る

身体能力：身体的能力が改善された

継続：今後も続けたい、

生活の場：実際の生活の場に応じた指導が役立っている

安心：安心できる・精神的な支援になっている

活気：明るさ・活気・意欲が出てきた

効果あり：効果がある・助かっている

専門：専門スタッフに指導をしてもらえる

負担軽減：介護者の負担が軽くなった

体調：体調が安定した・良くなった

目標：目標ができた・目標の達成感や充実感がある

連携：主治医・看護師との連携が図れる

通所：通所や病院より良い

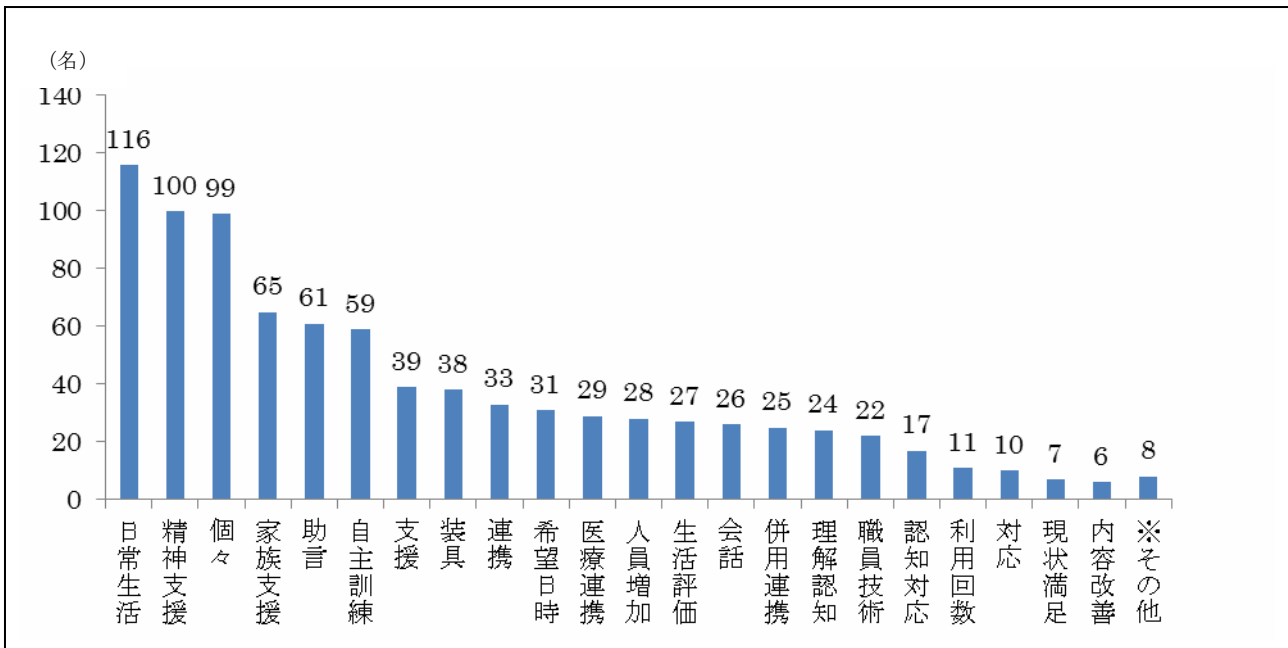
訪問以外：訪問リハの日以外は意欲が出ない

高い：単位・単価が高い

不満足：物足りなさを感じる

成果：成果が出ない・わからない

問 11 今後、訪問リハに期待することは何ですか？（複数回答可）



※その他：STを増やしてほしい。言語リハ、嚥下リハ。言語訓練の継続。効果と実態。他職種へのアドバイスや技術の指導を行ってもらい、継続したリハビリの提供が行えたらと思う。ケアマネとの連携。調理や家事動作など生活に直結したリハビリを。土日祝日も利用できるようにしてほしい。担当者がコロコロと変わるのは困る（利用者とのコミュニケーションが取りにくくなる、意欲低下）。福祉用具のアドバイス。

日常生活：日常生活が維持・向上できるようなリハビリ

個々：個々の状態・要望に応じたリハビリの実施

助言：専門職としてのアドバイス

支援：訪問リハならではの支援

連携：スタッフの連携（報告・連絡など）強化

医療連携：医療との連携・医療面のフォロー

生活評価：生活機能評価の実施

併用連携：他介護サービスの併用・連携

職員技術：スタッフのレベルの統一・向上

利用回数：利用回数・提供時間の見直し

現状満足：現状で満足

精神支援：本人の精神的支援・意欲向上への支援、

家族支援：家族への支援・指導・情報提供

自主訓練：自主訓練の指導・提案

装具：装具や住宅などについてのアドバイス

希望日時：希望の日時に利用できると良い

人員増加：訪問リハを行う事業所・人員の増加

会話：利用者とのコミュニケーションの向上・促進

理解認知：訪問リハの理解・認知度の向上

認知対応：認知症の方への対応

対応：事業所による対応の違いの改善

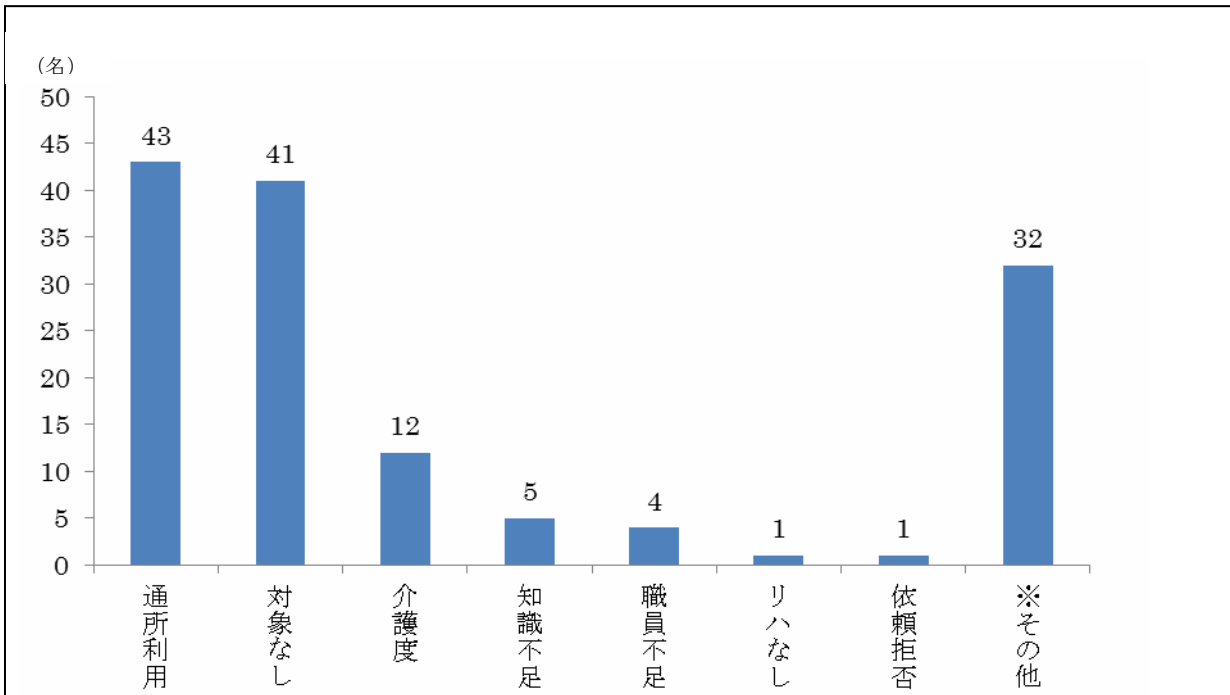
内容改善：リハビリ内容の改善

～訪問リハを利用していない介護支援専門員 100名 (36.5%)～

問 12. あなたの担当の利用者のうち、訪問リハ導入が望ましいと考える利用者数は何件ですか？

\*導入が望ましいと考える利用者の合計は 135 名で、平均は 1.3±1.7 名であった。

問 13.訪問リハビリを使用していない理由は何ですか？（複数回答可）。



※その他：対象者から導入の必要性や内容の理解が得られないため。自宅でのリハビリより外出して気分転換を図りながらのリハビリの希望が多い。効果がわからない。訪問看護師に行ってもらっている。冬期間の利用を検討している。タイミング、時期をみながら声掛けしたい。家族・本人の意向も参考に検討したい。利用者のリハビリに対する意欲があまりない。経済的に余裕がない。料金が高い。指示書が煩わしい。PT との相性が合わなかった。毎日継続して利用しないと機能維持が図れない。複数の訪問系サービスを使うと家族が人疲れしてしまう。家人が訪問されるのを嫌う。施設入所のため。

通所利用：通所系のサービスを利用することで十分目的を果たせると考えるから

対象なし：対象者がいないから

介護度：要介護度による（支給限度額の関係から）

知識不足：訪問リハに関する制度や内容がよく分からないから

職員不足：リハ職員のマンパワーが不足しているから、

リハなし：訪問リハを実施している事業所がないから

依頼拒否：事業所に依頼したが断られたから

問 14.上記の理由が改善されれば、訪問リハを使ってみようと思いますか？

*使ってみようと思う	71名
*わからない・無回答	15名